

# 自己評価結果公表シート

作成 こでまり幼稚園

## 1、本園の教育目標

「つよいからだどゆたかな心」という大きな柱の中に、幼稚園では、たくさんの身近な人と関わりを持ち、自分の興味・関心を持ったことを、とことんまで遊び込むことが大切であるという考えのもと、やる気・・・たくさんの遊びを経験し、自分で考え創意工夫する中で、生きていく力を育てる。  
こん気・・・遊びや生活の中で、最後まであきらめずにがんばる力を育てる。  
元 気・・・あいさつをしっかりと、明るく元気で、自分のことは自分でする習慣を育てる  
の目標が掲げられている。

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育に関する計画に基づいてより丁寧に保育を行い、自己評価を行いながら保護者のニーズも含め、次なる課題を見出す。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	新幼稚園教育要領の理解し、教職員間で協力し合いながら多角的な視点において、指導計画の編成を行っている。
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	新幼稚園教育要領にも示されているように、幼稚園に求められる社会的なニーズも変化してきている。こうした背景を踏まえて、本園がこれから長期的にどのような社会ニーズに応える必要があるか、具体的に検討を継続している。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	外部研修等、教育の質の向上のための研修に関し、勉強した内容を実践につなげるための技術向上を意識している。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	保護者からの電話連絡等、職員間での伝達方法を全職員が周知し、意識をもって取り組んでいる。 新たに利用者から出たニーズに対する把握、検討を始めている。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今回、自己評価を行い、園として、また職員個人として取り組むべき内容を見ることができた。職員一人ひとりが培ってきた経験を現場で活かし、教職員として自信を持てるような仕組みづくりが継続の課題である。

また、利用者へのアンケート結果により、施設面や保育の面で気づきが足りないことを認識させていただくことができた。職員間での共有を行い、取り組み始めている。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	現在も毎月 10 日に行う内容と毎日行う内容を分け、点検し、園長に報告をしている。 今後は、点検項目を再検討し、広い視点から点検が必要と思われる内容を点検項目に入れていく。 迅速な対応が求められる場合は、業者へ依頼している。
特別支援教育	現在、個別ノートでの記録や巡回指導を受けながら、よい良い子どもの育ちを考えた保育実践を行っている。 また、各所連携機関のとの連携がとれるように、打ち合わせなどを適宜行っている。 今後も引き続き、関係機関との連携を構築して行けるよう務めていく。
園に対する保護者の満足度の把握	園の情報発信として、ブログの活用を行っているが、保護者には浸透しきれていないように感じる。 今後、ブログの活用に関して管理会社と検討を重ね、より良い物となるよう、引き続き対策を考えていく。

#### 6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。

#### 7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

## 学校評価シート(学校関係者評価)

こでまり幼稚園

学校関係者評価委員会

日時： 令和5年3月3日(金)

16:00～17:00

場所： 所沢市狭山ヶ丘1-3015

こでまり幼稚園 スカイルーム

出席者： 評価委員(保護者) 2名

勝部 里美(PT会長)

佐々木 美幸

評価委員(地域住民) 3名

小野 葉子(民生委員)

上村 澄恵(みどり保育園 園長)

由井 由美子(まるさわ学園 理事)

その他 2名

(株)幼保経営サービス

担当：前原 洋子

こでまり幼稚園

園長：澤田 一夫

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定であったか

自己評価ということで、今まで培ってきた幼稚園の教職員や利用者の方々の思いなどを受け止めるためには、今回の目標・計画及び評価項目の設定は、適切であったと考える。

2. 評価結果の内容は適切であったか

評価結果は、全体的な視点から見た状態がわかるものであったため、今後の課題を見出すためには適切であった。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

施設としての安全管理点検等の持続を含め利用している子どもの育ちとその保護者に対する情報発信の充実というところは適切であると考ええる。

4. 今後取り組む課題は適切に行われているか

令和5年度、今回見出された課題に向け1つつつ行っていく。